

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2017年2月号参照）。

平成28砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：197万トン（前回見通しから1000トン減）

総供給量：187万8000トン（同5万トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万4000トン（同7000トン増）

表1 平成28砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,923	520.8	447.5	485.2	481.5	1,935	
	含みつ糖	35	5.8	14.0	10.3	5.3	35	
	合計	1,958	526.6	461.5	495.5	486.8	1,970	
供給量	国内産糖	分みつ糖	805	299.7	335.8	28.4	-	664
		含みつ糖	8	0.5	7.7	1.2	-	9
		小計	813	300.2	343.5	29.6	-	673
	輸入糖	分みつ糖	1,164	341.9	179.9	327.8	345.5	1,195
		含みつ糖	11	1.2	4.5	3.4	0.9	10
		小計	1,175	343.1	184.4	331.2	346.4	1,205
	合計	分みつ糖	1,969	641.6	515.7	356.2	345.5	1,859
		含みつ糖	19	1.7	12.2	4.6	0.9	19
		小計	1,988	643.3	527.9	360.8	346.4	1,878
	期末在庫		314	428.9	495.3	360.6	220.2	220

表2 平成28砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	818	176.0	178.5	245.3	223.8	824
供給量	818	176.0	178.5	245.3	223.8	824

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

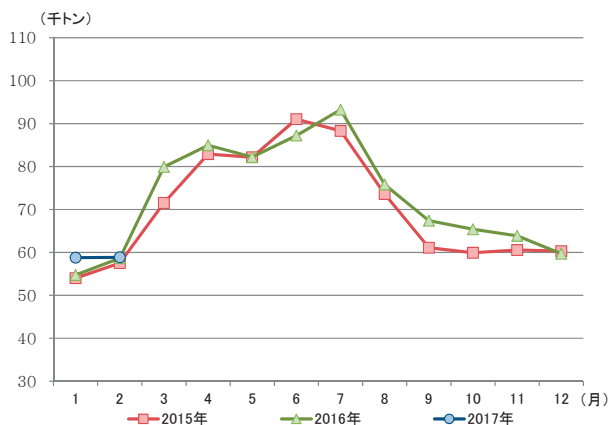
2月の移出数量は前年同月並み

2017年2月の異性化糖の移出数量は、5万8856トン（前年同月比0.4%増、前月比0.1%増）となった（図1）。

2月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

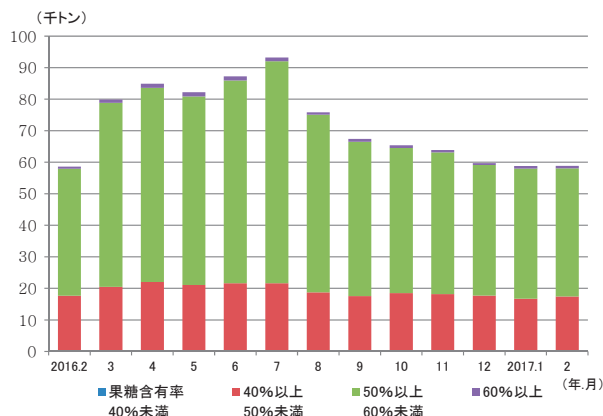
果糖含有率40%未満	384トン
（前年同月比5.7%増、前月比22.5%増）	
同40%以上50%未満	1万7064トン
（同1.4%減、同4.0%増）	
同50%以上60%未満	4万609トン
（同0.9%増、同1.6%減）	
同60%以上	798トン
（同8.1%増、同0.9%増）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

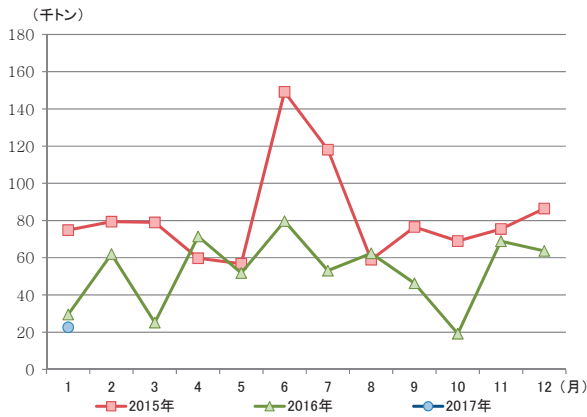
財務省「貿易統計」によると、2017年1月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、2万2602トン（前年同月比23.5%減、前月比64.5%減）であった（図3）。

輸入先国はタイのみであった（図4）。

タイ	2万2602トン
（前年同月比23.5%減、前月比64.5%減）	

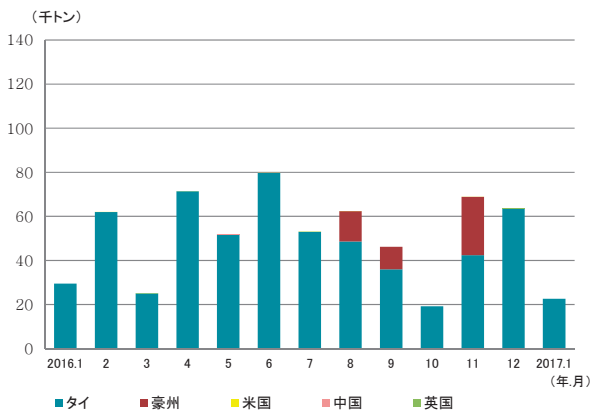
同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、1万3975トン（前年同月比19.1%減、前月比76.1%減）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移

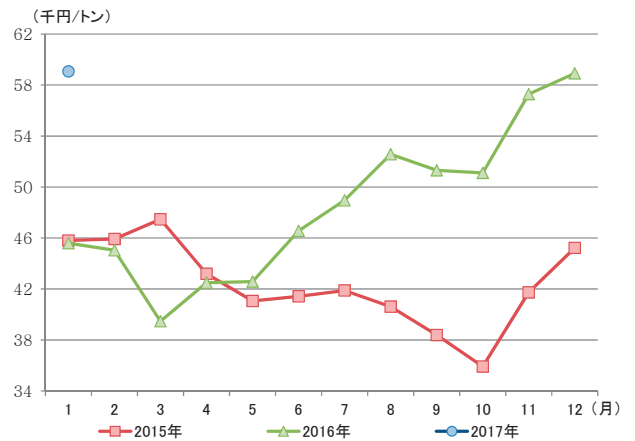


資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2017年1月の1トン当たりの輸入価格は、5万9068円（前年同月比29.6%高、前月比0.3%高）となった（図5）。

タイ 5万9068円
（前年同月比29.6%高、前月比0.3%高）

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2017年1月の含みつ糖の輸入量は、1151トン（前年同月比16.4%増、前月比2.2倍）であった（図6）。

輸入先国はタイ、中国、ポリビアおよびフィリピンの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

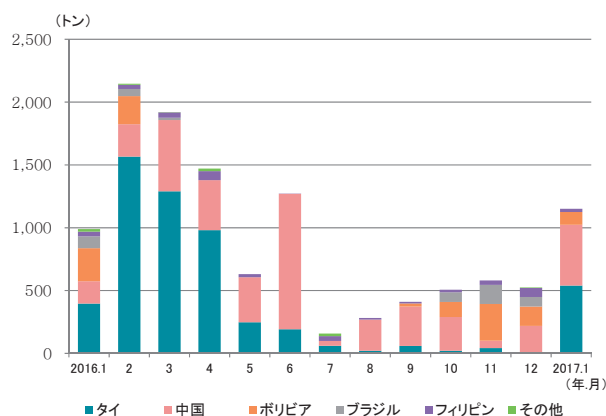
タイ	540トン
	（前年同月比36.0%増、前月輸入実績なし）
中国	484トン
	（同2.7倍、前月比2.2倍）
ポリビア	102トン
	（同61.1%減、同34.2%減）
フィリピン	25トン
	（同32.4%減、同65.8%減）

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

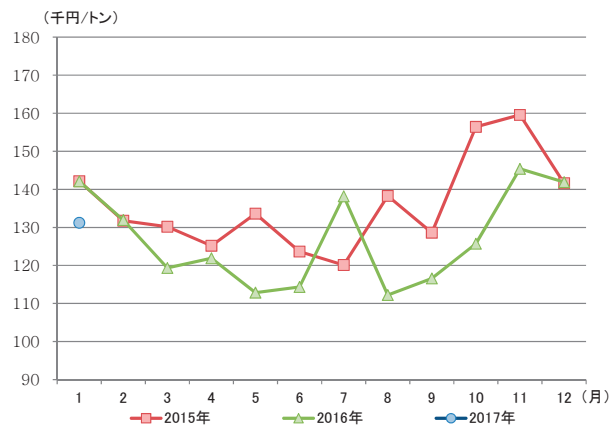
2017年1月の1トン当たりの輸入価格は、13万1202円（前年同月比7.7%安、前月比7.6%安）となった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	13万307円
	（前年同月比2.2%安、前月輸入実績なし）
中国	12万9424円
	（同9.5%高、前月比13.1%高）
ボリビア	13万6833円
	（同5.8%安、同0.9%安）

フィリピン 16万1960円
（同32.3%高、同9.6%高）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

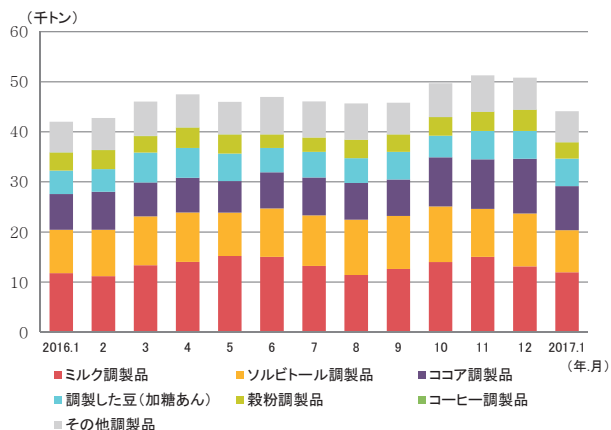
1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2017年1月の加糖調製品の輸入量は、4万4114トン（前年同月比4.9%増、前月比13.2%減）となった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	1万1975トン
	（前年同月比1.6%増、前月比9.0%減）
ココア調製品	8824トン
	（同23.8%増、同19.3%減）
ソルビトール調製品	8373トン
	（同3.4%減、同20.4%減）
調製した豆（加糖あん）	5486トン
	（同17.5%増、同1.6%減）
穀粉調製品	3232トン
	（同10.9%減、同23.4%減）
コーヒー調製品	34トン
	（同3.3%減、同8.9%増）
その他調製品	6192トン
	（同1.1%増、同3.2%減）

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖は前月から3円値上がり

～本グラニュー糖（大袋、東京）は平成に入って初めて200円台～

2月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～196円

大阪 同193～196円

名古屋 同196～199円

関門 同196～199円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり205～206円

大阪 同207円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり197～201円

大阪 同198～201円

名古屋 同201～204円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～196円

大阪 同193～196円

名古屋 同194～197円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で25.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、191.2円（前年同月差2.5円高、前月差0.4円高）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 196.4円

（前年同月差1.7円高、前月差6.9円高）

東北 195.4円

（同2.9円高、同0.3円安）

関東など 180.5円

（同3.5円高、同3.8円高）

首都圏 193.9円

（同8.5円高、同0.5円安）

中部 178.5円

（同1.3円安、同1.4円安）

関西 190.8円

（同0.1円高、同1.8円安）

中国・四国 203.7円

(同5.0円高、同0.8円安)

九州・沖縄 190.0円

(同3.0円安、同0.3円高)

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は25.2円であった。

(注) 地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で79.9円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、239.5円（前年同月差3.7円高、前月差1.0円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 194.9円

(前年同月差1.7円高、前月差1.9円高)

東北 274.8円

(同6.0円高、同1.6円高)

関東など 245.6円

(同0.5円安、同0.1円安)

首都圏 244.9円

(同6.5円高、同1.6円高)

中部 251.1円

(同1.8円高、同1.5円高)

関西 230.0円

(同2.1円高、前月同)

中国・四国 252.1円

(同6.7円高、前月差0.7円安)

九州・沖縄 219.5円

(同1.5円高、前月同)

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は79.9円であった。

2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で50.5円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、234.5円（前年同月差3.6円高、前月差0.9円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 238.1円

(前年同月差0.2円高、前月差2.0円安)

東北 256.9円

(同1.4円安、同1.0円高)

関東など 240.6円

(同2.9円高、同0.3円安)

首都圏 232.4円

(同5.5円高、同3.5円高)

中部 226.3円

(同1.4円高、同0.6円高)

関西 231.2円

(同5.3円高、同2.1円高)

中国・四国 248.7円

(同11.2円高、同1.8円安)

九州・沖縄 206.4円

(同1.6円安、同0.3円高)

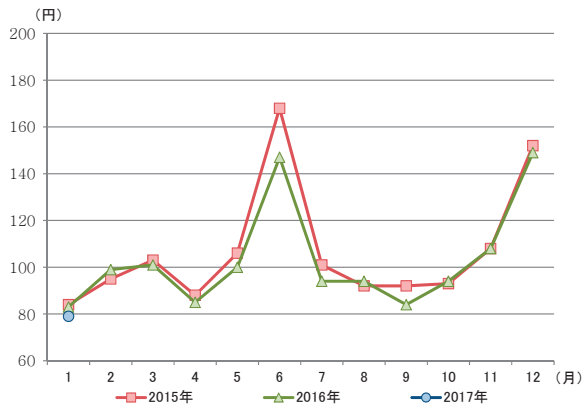
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は50.5円であった。

【購入金額および購入量】

1月の砂糖の支出金額および購入数量ともに 前年同月からやや減少

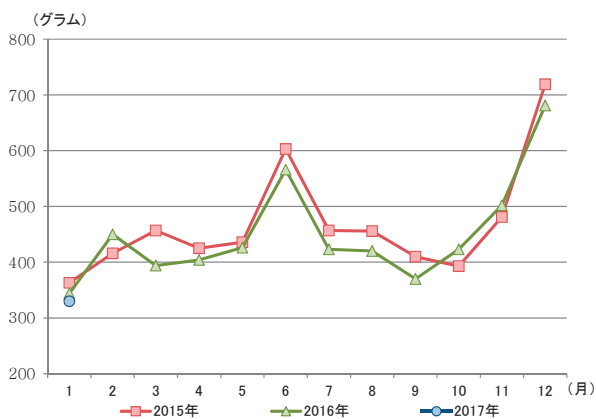
総務省「家計調査」によると、2017年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は32で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、79円（前年同月比4.8%安、前月比47.0%安）となった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、330グラム（同4.1%減、同51.5%減）となった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」